

## 令和6年度 第3回草津市行政経営改革推進委員会 会議録

■日時：

令和6年10月11日（金） 午前10時00分～11時30分

■場所：

市役所5階 502会議室

■出席委員：

黒川委員長、南島副委員長、中委員、井上委員、山本清治委員、伊藤委員、中西委員、木村委員

■欠席委員：

山本善美委員、松本委員

■事務局：

北相模総合政策部理事、経営戦略課 岸課長、田中係長、佐藤主査、米田主任

■傍聴者：

なし

### 開会

---

#### 1 あいさつ

---

【北相模総合政策部理事】

本日ここに、令和6年度第3回草津市行政経営改革推進委員会の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、御多用のところ御出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第1回の委員会で申し上げましたとおり、令和3年度から開始しております、「草津市行政経営改革プラン」につきましては、今年度、計画期間の最終年度を迎えます。

このことから、今年度は、次期計画の策定につきまして、委員の皆様とともに議論させていただき、また、前回の委員会においては、担当課より、これまでの取組のヒアリングもいただきながら、計画の案を取りまとめたところでございます。

あわせて、昨今の賃金水準の上昇等を踏まえ、指定管理者の健全な経営を通じた施設の適切な運営管理を目的として、本市の指定管理者制度に新たな制度を導入したところでございまして、詳細の内容を事務局から御報告させていただきます。

委員の皆様におかれましては、行政経営改革の推進に何卒格別の御協力・御支援を賜りますようお願いを申し上げます。甚だ簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

## **2. 第2期草津市行政経営改革プラン（案）の策定について**

---

＜資料1～4に基づき説明＞

### **【南島副委員長】**

提言書1ページにおいて、『協働のまちづくりの推進』と『自律的な行政経営』を改め、『自律的な行政経営』に特化することとし…」とあるが、特化することとなった経緯等をもう少し丁寧に説明した方がわかりやすいのではないかと考える。

### **【事務局】**

地域での取組の方向性については、第1期計画策定の際に、当委員会でも議論いただき、内容を整理しておりました。そのため、第1期計画には記載していたものの、今回の提言書では省略してしまっている部分もありましたので、改善させていただきます。

### **【黒川委員長】**

既に議論を行っていることがわかるような表現が良いと考える。

### **【中委員】**

提言書5ページ「定められたアクション・プランの進捗状況については、当委員会において点検、検証を行っていくべきである」とあるが、「点検、検証」だけでなく、当委員会で出た意見についてのフィードバックは含まれないのか。

### **【南島副委員長】**

P D C Aサイクルを意識しながら、前に進む、改革していくというような表現が良いと考える。そのほか、本編は綺麗にまとめているが、提言書については、主体が委員会となっていることも踏まえ、再度確認をされたい。

### **【事務局】**

限られた時間の中、多くの議題について御議論いただき、いただいた意見について一部フィードバックができていない部分もあるのではないかと感じています。文章の表現について、改善させていただきます。

### **【黒川委員長】**

計画本編には「自治体デジタル・トランスフォーメーション」と記載がある。取組の方針を6つのカテゴリーに分類する際に「D X（デジタル化の推進）」などの表現にした方が良いのではないかと考える。

【事務局】

本市の最上位計画である「草津市総合計画」の第2期計画を現在策定中であり、重要なプロジェクトとして「DXの推進」という言葉を使用することが決定しております。市民等にも伝わりやすいよう努めていく必要があると考えております。

【伊藤委員】

計画の本編には、専門的で難解な言葉が羅列されており、内容が分かりにくい部分もあり、市民からすれば遠い存在のように感じる。また、「経営」となると話が大きすぎて、専門知識がない方については、パブリックコメントを出そうにも出せないのが現状はないか。

【黒川委員長】

計画の本編における専門用語については、同じページの枠外に解説が入るように改善されたものの、それでも市民の方にとってはわかりにくい。

【中委員】

パブリックコメントについては、募集しても内容が難しそうだということで意見が出ないのではないか。募集の際に関心を抱いてもらうような工夫が必要なのではないか。

【南島副委員長】

パブリックコメントの中には、苦情や個別の要望などがあるという話も聞く。先の意見も踏まえ、分かりやすい文章作成に留意しながら、建設的な意見をいただきたいというメッセージを出していく方向性が良いと考える。

【黒川委員長】

パブリックコメントについては、建設的な意見を求める旨を記載すること、また、計画の策定（本編）については、資料のとおり手続を進められたい。

### **3. 指定管理者制度における賃金スライド制度の導入について**

＜資料5～6に基づき説明＞

【中委員】

施設の維持管理・運営に当たっては、指定管理者が再委託を行う場合もあると考えるが、（再）委託先の人件費は考慮しないのか。

【事務局】

当該制度については、昨今の賃金水準が上昇する情勢の中、先進的な自治体の取組も参考にさせていただきながら、内部での議論を経て、指定管理者の（直接業務に従事す

る職員の) 人件費について対応させていただくというものになります。今後、制度を運用する中で、他自治体の動向等も踏まえ、調査・研究を行っていきたいと考えております。

【山本委員】

まちづくり協議会として要望していた内容であり、制度化され嬉しく思う。

【黒川委員長】

指定管理者としてはありがたい制度だと考える。まちづくり協議会では、人材派遣会社へ依頼をすることはあるのか。

【山本委員】

人材派遣はない。職員として直接雇用をしているのみである。

【黒川委員長】

人材派遣会社へ採用を依頼する指定管理者がいるとすれば、本制度はそちらの人件費については考慮されないこととなるが、市の考えは。

【事務局】

指定管理料のうち大部分を占める人件費については、必要とする人員体制を基に、賃金水準の変動や直近の労務単価等を踏まえ、適切な積算を行っております。また、その他の経費についても、基本的には、物価の推移や直近の変動率等を踏まえ、施設の維持管理・運営に必要な経費を見積もっているところです。当該制度は、こうした適正な指定管理料を前提としながら、想定していなかった大幅な人件費の高騰については、対応する必要があるということで、導入したものとなります。今後、物価上昇への対応を含め、制度を運用しながら、調査・研究を行っていきたいと考えております。

【南島副委員長】

本制度の根拠は「運用の手引き」ということだが、ルールとして要綱等を制定するかどうか一考の余地があると思う。

【事務局】

御意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

【黒川委員長】

賃金スライド制度の導入については、本日の意見も参考にしながら、昨今の情勢を踏まえ、一步ずつ改革を進められたい。

## 閉会

---

### 【岸経営戦略課長】

本日は様々な方面から、活発な議論をいただきありがとうございました。

今後、本市の行政経営改革のさらなる推進に向けて、委員の皆様にはいろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。